

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン事業】

事業名	関節運動再現ロボット活用と障害者パートナーシップによる職業技術・技能の指導方法の開発		
学校法人名	学校法人 福田学園		
学校名	大阪リハビリテーション専門学校		
代表者	理事長 福田 益和	担当者・連絡先	事務局リーダー 山田 豊
<p><事業の概要></p> <p>理学・作業療法士養成において、現状の臨床実習の施設数及び教育ツールは不十分である。その効果を高めるために、①関節運動を再現するロボットを開発して学内での技術教育に活用する教育システム、②学内・外での障害者パートナーシップ・システムによる障害者との専門的コミュニケーション・スキルの学習法を開発する。</p> <p><成果></p> <p>[関節運動再現ロボットを開発しこれを活用した学習法開発事業]</p> <p>ロボット開発に取り組んでいる大学や大阪市内の各企業と共同で、関節運動再現ロボットを開発した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 臨床症状及び障害の分析：医学・理学療法的手法も使い、臨床症状を調査・分析した。 ② 関節部に内蔵したモーターをコンピューターで制御し、さまざまな運動麻痺肢ならびに関節障害肢を再現するロボットを開発した。 ③ 熟練者と初学者の違いを数量化できるよう、ロボットの肢節に加わる療法士の手の力やベクトルをモニターすることに成功した。 ④ 関節運動再現ロボットを活用した効果的な指導プログラムを開発・検証した。 ⑤ 熟達者の徒手技術を学習できる指導プログラムを開発・検証した。 <p>[障害者パートナーが積極的に参加する教育システムの開発]</p> <p>学内にパートナー支援体制を用意し、以下を実施した</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 協力障害者が参画する教育プログラムの開発：協力障害者が理学・作業療法士養成の意義と教育目標を理解し、かつ、積極的に学習に参加する教育プログラムを開発・検証した。 ② 協力障害者の心理的变化の実態調査：養成教育という社会参加をした結果、障害者自身の心理的变化を調査した。 <p>[障害者パートナーシップによる学習プログラムの開発]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 協力障害者のパートナー教育プログラムを経て学内コミュニケーション学習を実施した。 ② 障害者パートナーシップによるコミュニケーション・スキル向上を測定した。 ③ コミュニケーション・スキルを向上させるための学習プログラムを開発・検証した。 			